

2019年12月9日

岐阜大学医学部附属病院において外来診療あるいは入院診療を受けられた
患者さんへ
「外来化学療法における QOL 評価に関する研究」への協力の
お願い

岐阜大学医学部附属病院薬剤部では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を岐阜薬科大学実践社会薬学研究室との共同にて行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2017年9月から2018年12月までに当院外来化学療法室にて抗がん剤治療が施行された方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2024年3月31日

研究目的

外来がん化学療法は、入院でがん化学療法を行うことと同等の治療効果が期待できるだけでなく、患者さんにとっては治療による拘束時間の減少と、社会生活の大きな変更なく治療を行うことができます。そのため、入院でのがん化学療法と比較して生活の質（quality of life: QOL）が高いという利点があります。しかし、外来がん化学療法は、自宅における有害事象に対する患者の予防や対策のセルフケアが非常に重要であり、有害事象への対応が十分行えない場合、有害事象が悪化するリスクがあります。そこで、本研究では、QOLを低下させる有害事象を明らかとするため、外来化学療法室にて抗がん剤が投与された患者におけるQOLと有害事象の関連について検討を行います。

調査項目

患者背景（年齢、性別、身長、体重、がん腫、化学療法レジメン、治療開始からの日数）、臨床検査値（ALB、AST、ALT、Scr、T-Bil、WBC、Neut、Lymph、HGB、PLT、CRP、CEA、CA19-9）、有害事象（食欲不振、悪心、嘔吐、便秘、下痢、口内炎、味覚障害、関節痛、筋肉痛、末梢神経障害、疼痛、四肢浮腫、ざ瘡様皮疹、爪囲炎、皮膚乾燥、手足症候群、掻痒症、脱毛、好中球減少、白血球減少、血小板減少、発熱性好中球減少症）、QOL（EQ-5D）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び各研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号 058-230-7088

氏名：藤井 宏典

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名：鈴木 昭夫